事例No.	2218
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	鹿児島県和泊町

事例区分	公会計

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・セグメント分析 ・公共施設活用

事例種類	セグメント分析

事例内容・タイトル

地方公会計と公共施設の適正管理との連携

出典

地方公会計に関する取組事例集

地方公会計と公共施設の適正管理との連携（鹿児島県和泊町）

背景・目的

○「和泊町公共施設等総合管理計画」で定めた目標達成に向けて、利用者等の少ない施設の統廃合や所期の目的を達成した施設等の廃止を検討するにあたり、他の団体の同施設や類似施設等の比較（非財務情報を活用した分析）等を行うことを目的とし、施設別行政コスト計算書及び貸借対照表を作成。

事例概要

○「和泊町公共施設等個別施設計画」において、統廃合や民間譲渡、建て替えの検討が必要と判断された施設を対象に施設別行政コスト計算書及び貸借対照表を作成。
○人件費、退職手当引当金、賞与等引当金については、平均単価に職員数を乗じて算出。
○分析対象施設に共通する資産、複合施設に係る地方債等の負債、複合施設の光熱水費等の費用など、施設に直接関係するものは、面積比等の客観的な基準により按分し、配賦。庁舎等の共通資産や臨時財政対策債等の負債、間接経費は配賦しない。
○セグメント分析により得られた情報を、「公共施設等総合管理計画」に内容の充実等のため掲載する。

施設名	理由	個別計画における方針
和泊町実験農場	設置から20年以上が経過し，初期の目的を達成したことや稼働状況の著しく低い施設があることから，施設の運営を含めた在り方について根本的な検討が必要。	機能が重複する施設もあることから，施設の統廃合を検討。また，施設の機材等の利用料等の受益者負担の見直しを行う。
和泊町有線テレビスタジオ	平成26年度から自主放送番組制作のみ民間委託を行っている。機器類の管理や加入者情報管理・利用料管理は担当課が行っているが，施設の管理を含めた委託について検討が必要。	個別計画において「現状維持」との方向性は示されているが，自主放送番組制作業務と施設の管理運営を含めた包括的な業務委託の検討を行う。
和泊町立図書館	建設後30年以上が経過し，施設の老朽化や耐震性の問題がある。また，現在の位置では十分な数の駐車場の確保が困難なことから，機能の移転や複合施設の建設などの検討が必要。	機能移転・複合化，または必要な改修工事を行うとの方向性が示された。利用者数などから町民に最も利用されている施設であることから，利便性等も考慮した施設のあり方について検討する必要がある。
和泊町中央公民館	施設の老朽化や耐震性の問題がある。また，現在の位置では十分な数の駐車場の確保が困難なことから，機能の移転や複合施設の建設などの検討が必要	機能移転・複合化を行うとの方向性が示された。図書館と同様に利用者の多い施設であることから利便性等を考慮した施設のあり方を検討する必要がある。

セグメント分析結果

○　図書館と中央公民館について、有形固定資産減価償却率や純行政コストを比較し、中央公民館の機能移転・解体撤去。
○　実験農場について、行政コスト計算書の経常費用・経常収益の金額をもとに検討を行い、一部事業の有料化を実施。

今後の課題・展望等

○公会計担当職員以外の職員がセグメント分析の手法を習得するための研修や、セグメント分析情報を誰でも活用できる仕組みづくりを検討する必要がある。

○今後建設が予定されている総合体育館の規模や機能について、セグメント分析情報を活用予定。